

令和8年度玉城町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

玉城町については、担い手による小麦の作付けが定着してきているが、まだ稲作に対する依存度も高く、生産意欲も高い。また、稲作との複合経営で地域振興作物への取り組みや、若手新規就農者のイチゴ栽培への参入も進んでいる。

現状、農業従事者の高齢化や農業機械、農業資材、燃料等の価格の高騰により、担い手の経営も厳しい状況となっている。今後、兼業農家のリタイアが急速に進むことが予想される中、当町の水田農業を維持していくには、新たな担い手の確保や育成を進める必要があるが、土地利用型農業においては、資材価格の高騰から初期投資や生産原価が大きくなっていることや、米価が不安定であること、等から、新規就農者が見込めないことが大きな課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

玉城町においては、産地強化計画に沿って、イチゴ、キャベツ（加工含む）、かぼちゃ（加工含む）、青ネギ、ブロッコリー、とうもろこし、さつまいもの振興が進行中で、担い手の所得向上への取り組みで栽培面積も拡大している。

これらの作物については、二毛作（基幹作の例：かぼちゃ、とうもろこし等、二毛作の例：キャベツ、ブロッコリー等）による所得向上への取り組みの推進を継続し、農家所得の向上を図っていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田農業の担い手を対象に、産地強化計画の品目である露地野菜の作付けを推進し、一定の成果はあるものの、価格及び収量が安定しないことから、安定継続的に栽培されるまでには至っていないのが現状で、直ちに畑地化をすすめるのは困難である。

今後、町内農業の維持のためには、水稻偏重の作付体系の見直しが必要であることから、高収益作物の作付けが固定化している水田については、畑地化の取り組みを推進していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

米の需要対策に見合った計画的生産を継続推進するとともに、近年の品質低下対策として、適期作業の徹底と、高温耐性品種及び耐倒伏品種の導入を関係機関と検討し、対応していく。

(2) 備蓄米

関係機関と連携し、生産の推進を検討していく。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

ここ数年の主食用米の価格高騰により、飼料用米への取り組みが大幅に減少するこ

とが予想される中、地域ブランド「玉城豚」生産者をはじめとする町内畜産農家への飼料安定供給と耕畜連携のわら確保のため、多収品種による生産性向上や担い手への作付けを推進していく。

イ 米粉用米

該当なし

ウ 新市場開拓用米

該当なし

エ WCS 用稲

該当なし

オ 加工用米

該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、作業効率の向上及び収量アップに向けて、団地化及び土壌改良の徹底を図っていく。また、大豆は麦後での二毛作として作付けされているが、品質向上に向け、適期作業を徹底していく。

飼料作物については該当なし。

(5) そば、なたね

該当なし

(6) 地力増進作物

地域振興作物及び高収益作物の拡大に向け、露地野菜の連作障害防止対策として、地力増進作物の推進を行っていく。

(7) 高収益作物

産地強化計画が策定された品目や生産拡大に取り組んでいる野菜、伝統工芸品であるしめ縄の原材料となる加工用青刈り稲において、新規栽培者の確保や二毛作（小麦あと）の取り組み推進も含め、面積拡大に取り組む。

5 作物ごとの作付予定面積等 ～ 8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	703.0		720.0		720.0	
備蓄米						
飼料用米	24.6		50.0		50.0	
米粉用米						
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦	131.0		170.0		170.0	
大豆	5.65	5.65	6.0	6.0	6.0	6.0
飼料作物						
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物	2.3		3.0		3.0	
高収益作物	42.7		56.0		56.0	
・野菜	41.0	11.3	53.9	13.5	53.9	13.5
・花き・花木	1.7		2.0		2.0	
・果樹	0		0.1		0.1	
・その他の高収益作物						
その他						
・しめ縄用青刈り稲	5.9		6.0		6.0	
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	野菜 花き・花木 果樹	野菜等生産支援助成	作付面積	(7年度) 714a 169a 0a	(8年度) 1,100a 200a 10a
2	イチゴ さつまいも とうもろこし	地域振興野菜支援助成 （基幹作）	作付面積	(7年度) 563a 378a 614a	(8年度) 570a 550a 620a
3	キャベツ かぼちゃ 青ネギ ブロッコリー	産地強化支援助成 （基幹作）	作付面積	(7年度) 217a 293a 139a 86a	(8年度) 400a 500a 200a 100a
		産地強化支援助成 （二毛作）	作付面積	(7年度) 0a 0a 0a 1,139a	(8年度) 50a 0a 0a 1,300a
4	麦（基幹作）	麦団地化助成	団地化（2ha以上）面 積	(7年度) 4,149a	(8年度) 7,100a
5	大豆（二毛作）	大豆産地化 （規模拡大）助成	作付面積 （小麦あと二毛作）	(7年度) 565a	(8年度) 600a
6	飼料用米（多収品種）	飼料用米生産性向上助成	作付面積 多収品種面積	(7年度) 2,459a 2,459a	(8年度) 5,000a 5,000a
7	飼料用米	わら利用（耕畜連携）取 組助成	わら利用取組面積 飼料用米作付面積	(7年度) 407a 2,459a	(8年度) 1,500a 5,000a
8	加工用青刈り稲（しめ 縄用）支援助成	加工用青刈り稲（しめ縄 用）支援助成	作付面積	(7年度) 587a	(8年度) 600a
9	小麦	小麦収量増大支援助成 【PH測定＋石灰資材の散 布】	小麦作付面積 散布面積 実施率 単収	(7年度) 13,107a 12,775a 97% 352kg/10a	(8年度) 17,000a 15,000a 88% 330kg/10a
10	小麦	小麦収量増大支援助成 【堆肥散布の実施】	小麦作付面積 単収 散布面積 実施率	(7年度) 13,107a 9,819a 75% 352kg/10a	(8年度) 17,000a 14,000a 82% 330kg/10a
11	ヘアリーベッチ ソルガム	地力増進作物取組助成	作付面積	(7年度) 48a 172a	(8年度) 100a 200a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:三重県

協議会名:玉城町農業再生協議会

整理 番号	使途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	野菜等生産支援助成(基幹作)	1	3,000	野菜、花き・花木、果樹(別紙のとおり)	出荷・販売目的で対象作物を生産すること 等
2	地域振興野菜支援助成(基幹作)	1	10,000	イチゴ、さつまいも、とうもろこし	出荷・販売目的で対象作物を生産すること 等
3	産地強化支援助成(基幹作、二毛作)	1, 2	10,000	キャベツ、かぼちゃ、青ネギ、ブロッコリー	出荷・販売目的で対象作物を生産すること 等
4	小麦団地化助成	1	4,500	小麦(基幹作)	小麦の出荷・販売契約を行う農業者(集落営農組織、認定農業者、認定新規就農者に限る) 2ha以上の団地化の形成により麦の作付けを行うこと 等
5	大豆産地化(規模拡大)助成	2	7,000	大豆(二毛作)	小麦あとに大豆を作付けする認定農業者又は集落営農組織「大豆品質改善チェックシート」に基づく品質改善を行い、記入したチェックシートを玉城町農業再生協議会に提出すること 等
6	飼料米生産性向上対策助成	1	7,000	飼料用米(多収品種)	需要者との間で契約を締結して、飼料用米のうち多収品種(夢あおば、やまだわら等)の生産・販売に取り組む担い手であること 等
7	わら利用(耕畜連携)取組助成	3	9,000	飼料用米(耕畜連携:わら利用)	需要者との間で利用供給協定を締結して、耕畜連携のわら利用に取り組むこと
8	加工用青刈り稲(しめ縄用)支援助成	1	8,000	加工用青刈り稲(しめ縄用)	出荷・販売目的で対象作物を生産すること 等
9	小麦収量増大支援助成 【PH測定+石灰資材の散布】	1	1,500	小麦(基幹作)	土壌診断(PH測定)結果に基づく石灰資材の散布を行うこと この場合の土壌診断は、石灰散布する3圃場(3筆)ごとに1箇所行うこと 等
10	小麦収量増大支援助成 【堆肥散布の実施】	1	1,500	小麦(基幹作)	牛糞堆肥2t/10a又は豚糞堆肥0.5t/10a以上を施肥すること 鶏糞の施肥量は300kg/10a以上であること
11	地力増進作物取組助成	1	20,000	ヘアリーベッチ、ソルガム	二毛作、次年度の戦略作物、高収益作物の作付けに向け、地力増進作物の作付けを行い、鋤き込みを行うこと

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

野菜	アスパラガス、イチゴ、伊勢芋、インゲン（青さや含む）、うり（しろ・まくわ・にが）、枝豆、エンドウ（グリーンピース、青さや含む）、オクラ、かぶ、カリフラワー、キヌサヤ、きゅうり、クレソン、クワイ、ケール、小松菜、芽キャベツ、ゴボウ、里芋、シソ、ジャガイモ、春菊、食用菊、ショウガ、自然薯、スイカ、ズイキ、セリ、セルリー、大根、高菜、タマネギ、チンゲンサイ、漬け菜類（あさま小菜等）、トウガラシ（シシトウ含む）、トマト、とうもろこし、（未成熟）、ナガイモ、ナス、なばな、ニラ、人参、青ネギ、白ネギ、白菜、パセリ、ひのな、ピーマン、フキ、法蓮草、ソラマメ（未成熟）、水菜、ミツバ、ミョウガ、メロン、モロヘイヤ、レタス、レンコン、マコモ、野菜苗、ニンニク
果樹	イチジク、オウトウ、柑橘、銀杏、クワ、ミカン、レモン、ゆず（中晩柑含む）、桃、梅、柿、キウイフルーツ、栗、梨（西洋梨含む）、ビワ、ブドウ、ヤマブドウ、ブリーベリー、リンゴ、アテモヤ、ポポー、果樹苗
花卉	アスター、アスパラ（切葉用）、オオツムギ、ガーベラ、カーネーション、カラー、菊類、キンギョソウ、グラジオラス、サンゴミズキ、シクラメン、シャクヤク、スイトピー、ストック、スターチス、セントポーリア、ダリア、ツルムラサキ、トルコキキョウ、ハナショウブ、ハナモモ、ハボタン、バラ、フリージア、ホオズキ、ラン類、切り花用母樹、観葉植物、鉢花（ゼラニウム等）、花苗（パンジー等）、球根花卉（チューリップ、曼殊沙華等）
花木	アジサイ、イチヨウ、楓、カシ、かりん、キャラボク、クス、グランドカバー（ヒメイワダレソウ）、ケヤキ、サクラ、サカキ、サツキ、サンゴミズキ、シキミ（シキビ）、シャクナゲ、スギ、セスバニア、ツゲ、ツツジ、椿、ナンテン、ハナミズキ、ヒノキ、マキ、マツ、モクセイ、モミジ、ヤマモモ、リュウノヒゲ（タマリユウ）、コニファー、低木（常緑・落葉）、中高木（常緑・落葉）、花木苗
地力増進作物	ヘアリーベッチ、ソルゴー、ソルガム